



# 中国グループ会社の業務改革加速へ 拡張性の高いワークフローシステムを導入

## NSSOL独自の業務テンプレート群で品質とコスト効率を追求

### 背景

中国現地法人の統括会社としてグループの業務改革を進めている。その一環としてグループ各社が書類で行っていた経費の申請・精算関連業務の見直しに着手。システム化で業務効率と業務スピードの大幅な向上を目指した。



富士胶片(中国)投資有限公司  
管理本部  
業務改革推進部 部長  
中国信息技术中心 副所長  
郭 斌氏



富士胶片(中国)投資有限公司  
管理本部  
財務会計部 副部長  
王 震氏



富士胶片(中国)投資有限公司  
中国信息技术中心 所長  
辻 健司氏

## FUJIFILM

富士胶片(中国)投資有限公司  
本社：中国・上海市浦东新区銀城中路68号  
設立：2001年  
資本金：17億4298万人民币(2015年3月31日現在)  
従業員数：828人(2015年9月30日現在)

### ソリューション

新日鉄住金軟件(上海)をITパートナーに選定。実績豊富なシステム基盤製品とNSSOL独自の業務テンプレート群を活用して、ワークフローシステムを構築。品質とコスト効率を高めながら、機能を柔軟に拡張できるようにする。

### 成果

開発開始から半年強でシステムの運用を開始。上海の本社および分公司の財務担当者の人員を半減させるとともに、経費精算までの期間を大幅に短縮した。今後、国内全社へ適用し、幅広い業務改革の土台として活用していく。

### ワークフローシステムの導入に際して、高い拡張性を要望

写真フィルムで培った技術で、デジタルカメラや医療機器、印刷設備といった事業領域を切り開いている富士フィルムグループ。中国現地法人の統括と販売支援のため、2001年に設立された富士胶片(中国)投資は2014年4月、業務改革の一環としてワークフローシステムの導入を計画した。

当時、富士フィルムグループは創立80周年を機に新コーポレートスローガン「Value from Innovation」を策定し、グローバル展開を開始。それを受けて富士胶片(中国)投資は、中国現地法人各社が書類で行っていた経費の申請・精算や立替業務の抜本的な改革に着手していた。同社はシステム化に際し、経費関連業務の効率化とスピード化に加え、幅広い業務改革の土台となる拡張性を求める。

### NSSOL上海がNSSOL標準を活用して円滑にプロジェクトを推進

富士胶片(中国)投資は要件をまとめ、新システムの提案を中国国内のITベンダー6社に依頼。各社の提案内容を総合的に評価して、新日鉄住金ソリューションズの中国現地法人である新日鉄住金軟件(上海)(以下、NSSOL上海)をITパートナーに選択する。NSSOL上海の提案は、実績豊富な拡張性の高いシステム基盤ソフトウェア「intra-mart Accel Platform」と、NSSOL独自の業務テンプレート群を組み合わせるもので、システムの品質とコスト効率に優れる。NSSOL上海は、2014年11月、ワークフローシステムの開発をスタート。操作画面のモックアップを基に利便性の高い画面の仕様を早めに確定するとともに、新日鉄住金ソリューションズグループのプロセス標準「NSSOL標準」を活用して円滑にプロジェクトを進めた。

### 業務効率とスピードが飛躍的に向上、今後の業務改革の土台に活用

「POWER」と名付けられたワークフローシステムは2015年5月、上海の本社およびその出先機関である分公司を対象に本格稼働を開始している。新システムによって、業務効率と業務スピードは飛躍的に向上した。まず、本社および分公司にいた財務担当者12人は、業務を本社へ集中させることで6人に半減。さらに、従来は長い場合で約1ヵ月、短い場合で約1~2週間かかった、経費精算から振り込みまでの期間がわずか3日に短縮した。今後、富士胶片(中国)投資はPOWERの適用範囲を、グループの中国現地法人全社へ広げ、業務のシェアードサービス化を軸とする、広範な業務改革の土台として活用していく。同システムは、業務テンプレートなどで短期間に多様な機能を拡張できる。2015年10月には、人事部門が目標業績管理機能を追加し、運用を始めている。

## Key to Success

富士胶片(中国)投資がワークフローシステムを導入したのは業務改革の一環である。

管理本部 業務改革推進部 部長で、IT業務を統括する中国信息技术中心の副所長 郭斌氏は「新スローガンの下、中国でも労務費上昇や競争激化に対応するため、様々な業務改革に取り組んでいます。その一環として、財務関連業務の抜本的な改革に着手しました」と語る。

管理本部 財務会計部 副部長の王志寅氏は「以前は、経費関連の申請・精算業務を書類で行っていました。財務部門では書類整理のため、上海の本社および出先機関である分公司の合計で12人の担当者がいました」と話す。

同社がワークフローシステムの導入に向け、ITパートナーとして選択したのが、NSSOL上海である。

中国信息技术中心 所長の辻健司氏は「NSSOL上海とはそれまで取引がありませんでしたが、ワークフローシステムで豊富な実績を持っています。そこで当社と取引実績のあるITベンダーに加えて提案を依頼。要件の達成度、中国や日本での導入実績、プロジェクト体制、価格などを総合的に判断して決めました」と振り返る。

王氏は提案内容が強く印象に残っているという。

「デモで見たシステムは、自分のイメージそのものでした。また、NSSOL上海の担当者にシステムについて質問すると、業務の観点で回答してくれ、すぐ理解することができました」

NSSOL上海の中国人エンジニアは、中国語と日本語の両方でコミュニケーションを行い、このプロジェクトを円滑に推進した。

氏は「ERP(統合基幹業務システム)との連携インタフェースを日本本社の類似システムを参考に開発しましたが、NSSOL上海のエンジニアは仕様をよく理解し、必要に応じて日本のIT部門と直接情報をやり取りしてくれました」と話す。

### NSSOL上海のマネジメントを評価 完成したシステムの品質も高水準

NSSOL上海のプロジェクトマネジメント力に関する評価も高い。

辻氏は「NSSOL上海のプロジェクトマネージャ(PM)は、顧客の要望を聞きながら、必要に応じて提言を行い、バランスが大変良いと感じました。また、システム開発の標準プロセスをベースに適切にマネジメントを行ってくれ、プロジェクトを円滑に進めるこ

とことができました」と語る。

NSSOL上海は、富士胶片(中国)投資の要望にきめ細かく対応した。

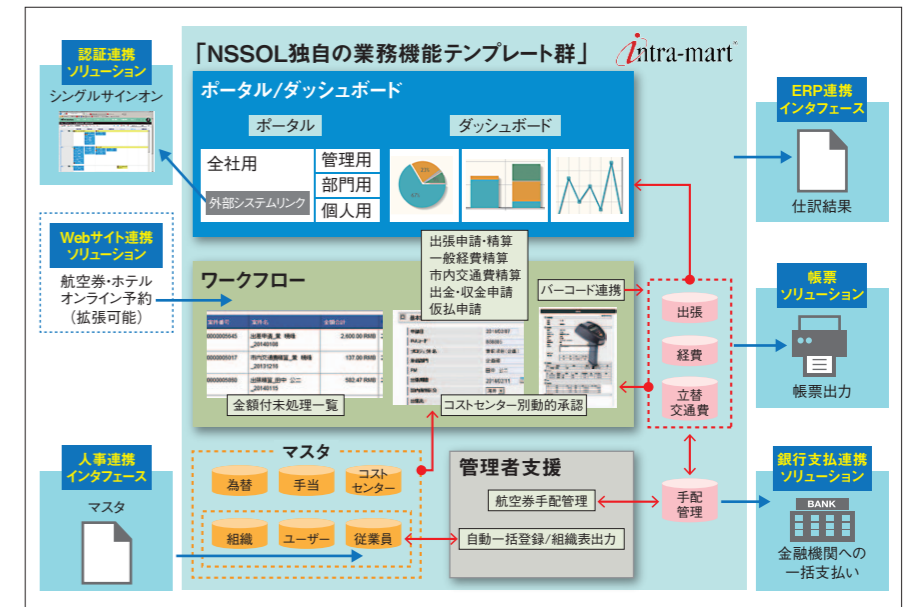
王氏は「NSSOL上海のエンジニアは、複雑な経理関連処理をよく理解し、当社の要望をシステムへの確に反映してくれました」と話す。

新システムは、安定性に優れており、拡張性も高い。

辻氏は「システムは稼働当初から高い水準で安定しています。社内評価が非常に高かったため、財務部門向けの機能に加え、さっそく人事部門向けの機能を追加しました」と語る。

郭氏は「今後はこのワークフローシステムを、社内の承認申請や稟議、さらには経費関連業務の事前申請や予算管理にも適用したいと考えています。NSSOL上海は、これまで通りに高い品質の仕事を行うと同時に、さらに高い目標にチャレンジしてほしいと思います」と話す。

### ■富士胶片(中国)投資が導入した「POWER」の概要



「POWER」は富士胶片(中国)投資社内システムの名称

### ■コアテクノロジー

ワークフロー、短工期・高品質のプロジェクト推進力

- #### ■システム概要
- システム共通基盤ソフトウェア：intra-mart Accel Platform
  - アプリケーション：NSSOL独自の業務テンプレート群